

# 陽気だより

養徳社

検索

ホームページからご覧いただけます

No.28

2009.7.15

第3号(24年7月号)から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年が60年の年です。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

## おみち 私は誰でせう?

今ラジオで大流行の「私は誰でせう」を、おみちでやってみよう。次のヒントをよく読んで考えて下さい。第一ヒントでお判りにならない人は第二、第三、第四、第五と順番にヒントをみて下さい。いよいよ判らない方は六〇頁をこらして下さい。お二人でやればなお楽しいです。夕食後にお交際やお母様を試験してこらんならう。もし落第でしたら何かおかわりするのも楽しいでしょう。

### 第一問

第一ヒント 私は幕末に生れ、明治四十年に出直しました。その時、私は七十八歳でした。  
第二ヒント 私の出直した日は六月九日です。  
第三ヒント 私はおみちにはいる前は、大工さんでした。  
第四ヒント 明治になつて斬髪令で、皆ちよんまげを切りました。が、私だけは切りませんでした。  
第五ヒント 私は教祖様に代つて神様のお言葉を傳えました。  
さあ、私は誰でしょう?

### 第二問

第一ヒント 私は明治十八年に入信しました。  
第二ヒント 私は若い時はやくざで、人と喧嘩したり、迷惑をかけた。りして、嫌われ者でした。  
第三ヒント 清水の次郎長も、私の名を知つていたので。  
第四ヒント 私の信仰の流れをくむ大教団は十ヶ所あります。  
第五ヒント 私の生れは河内の恩智村です。  
さあ、私は誰でせう?

### 第三問

第一ヒント 私は明治十二年に七十一歳でなくなりました。  
第二ヒント 私の選い先祖は物部守屋といわれています。  
第三ヒント 私の家は先祖代々神主さんです。  
第四ヒント 私はおみちに入信はしませんでしたが、しかし大分お役には立ちました。  
第五ヒント 私の息子は教祖様におくり名「眞道彌廣宣知女命」とつけました。

### 第四問

第一ヒント 私は河内の國の生れです。  
第二ヒント 私は九十七歳で出直しました。  
第三ヒント 私は明治七年の末盲目をたすけていた。いたのが動機で入信しました。  
第四ヒント 私は教祖様にも本席様にもおつかえいたしました。  
第五ヒント 私はおみちでたつた一人の女の本部員でした。  
さあ、私は誰でしょう?

### 第五問

第一ヒント 私は華族の娘に生れ、明治天皇の叔母に當ります。  
第二ヒント 私は生涯結婚いたしませんでした。  
第三ヒント 私は明治七年、教祖様にお目にかかりました。  
第四ヒント 私の詠んだ和歌は優れていると云われています。  
第五ヒント 私は大和の圓照寺に住んでおりました。  
さあ、私は誰でしょう?

### 〈答えはウツ面に〉

第3号の「読者の声」から  
★「陽気」を読みながら、自ずから浮かぶ微笑を禁じ得ず、一人楽しんで読むのが勿体なくて、信徒さんに回し読みして頂きました(奈良 太田つや子) ★かねて待望の創刊号を取る手おそしと読ませて頂きました。親神様は陽気な世界、陽気心をお好みなさると聞かして頂いておりますので、心が晴れ晴れしくなりました(東京 荒木和

恵) ★大教会の先生より、「陽気」を見せて頂いて、こんな良いお道の雑誌が出来たのかなあ、と本当にうれしく心勇んできました(三重 榎尾はつゑ) ★誰にも解り易く面白い本なのでお匂いがけに持つて行きましたら、私も欲しいと申される方が大分あります。そして天理教の雑誌が出るようになったのですね、と感心しておられます(長野 西野人とよ子)



〈参考〉ラジオ放送について

昭和24年ごろのラジオ

日本で「ラジオ放送」が始まったのは、大正14年(1925)3月22日午前9時30分のことだった。社団法人東京放送局(JOAK・現在のNHK東京放送局)が、東京・芝浦の東京高等工芸学校(千葉大学工学部の前身)内に設けた仮送信所から発した、ということである。  
そして、昭和24年1月2日から、NHKラジオでクイズ「私は誰でしょう」が始まり、翌3日から「とんち教室」の放送が開始された。  
(インターネット・「ウィキペディア」より)

## 夜空を見上げて

今日22日、日食が起こる。日本では、全国で部分日食を観察することができ、奄美大島北部、トカラ列島、屋久島、種子島南部など、皆既日食帯と呼ばれる地域・海域では、皆既日食を観察することができる。日本での皆既日食は、46年ぶり、次回は26年後ということである。

(国立天文台のHP参照)

日食とは、月が太陽の前を横切るために、月によって太陽の一部(または全部)が隠される現象であるが、月様(くにとこたちのみこと)が、日様(をもたりのみこと)と並ぶということである……と思えば、十柱の他の神名にも、

それぞれ天体が当って説かれていたなあ、と思った。「こふき本」(十六年本)に記述があるという。

「くにさづちのみこと」は源助星(南の空に輝く星)、「月



よみのみこと」は破軍星(北斗七星の剣先の星)、「くもよみのみこと」は朝の明星(東・金星)、「かしこねのみこと」は坤(西南)の方に集まる星、「たいしよく天のみこと」は良(東北)の方に集まる星、

「をふとのべのみこと」は宵の明星(西・金星)、「いざなぎのみこと」は牽牛(ひきぎ)という七夕星、「いざなみのみこと」は織姫という七夕星。

以上、「教理研究元の理改訂新版」(深谷忠政著)を参考にしながら、夜空を思い浮かべて星と神名を重ね合わせてみると、意識が地上から離れて宇宙へと広がっていく気がしてきた。

そして、その星空に十柱の神のお姿を重ねて考え合わせると、無限に広がる宇宙から広大無辺な親神の守護が、ちばの一点・かんろだいに凝縮して降り注がれているように思えて、不思議な感覚に包まれてきた。

時には夜空を見上げて、神の世界に思いを馳せたい。

## 養徳社 よもやま話

○……クーラーを使用する季節になると憂鬱になる。年式が古いのか、電源を入れると匂いが酷い時がある。社内環境をよくするために消臭剤や洗浄スプレーを使用したけど効果なく、皆、苦い顔ばかり……。

今夏は笑顔でお客さんを迎えられるよう、業務全員でホースを伸ばして普段より念入りに内部を洗浄してみました。

○……今月より「陽気」予告ポスターがなくなります。今後は「陽気」予告チラシをご活用くださいませよう、お願い申し上げます。

- おみち私(わたし)は誰(たれ)でしょう 解答**
- 第一問 本席飯降伊蔵先生
  - 第二問 平野檜蔵先生
  - 第三問 守屋筑前守
  - 第四問 増井りん先生
  - 第五問 伏見宮文秀王殿下

## 広告を載せませんか

ようぼくの企業や会社の広告を『陽気』誌へ載せてみませんか? 料金は、記事中で一回二万円から。

詳しくは養徳社広告係まで  
☎0743・62・4503

## 「陽気」創刊60年記念出版 お道の人 とっておきの話



四六判並製 240頁  
定価=1,260円(税込)  
送料 200円

お道の人  
美しい心象風景 52話  
朝席・夕席に最適です

七月二十六日発行

☎0743-62-4503 養徳社 fax0743-63-8077

## 「陽気」創刊60年記念出版

# 道 の八十年

初代真柱様との強い絆のもと 一派独立請願運動 教祖四十年祭倍加運動など 天理教の歴史とともに生き抜いた信仰軌跡

松村吉太郎 著  
(高安大教会初代会長)

定価11,680円(税込)  
送料2000円

改訂新版

☎0743-62-4503 養徳社 fax0743-63-8077

## 月刊雑誌 おおきな創刊60年 陽気

定期購読をお申しいただくと  
◎毎月発売日にあわせてご自宅、お教会へお届けいたします。  
◎買値割れがなく、毎月確実に届きます。  
修養科修了、友人、知人、お世話になった方へ1年間「陽気」をプレゼントしませんか。

お申込は  
今すぐ!

〒632-0016 天理市川原城町388 TEL0743-62-4503  
FAX0743-63-8077 養徳社 陽気定期購読係まで

### 『創刊60年定期購読特別割引』

通常 半年分1,420円 → **1,300円**  
(税込・送料共)

1年分2,840円 → **2,400円**  
(税込・送料共)

※特別割引は平成21年12月末日お申込分までとなります

創刊60年記念懸賞小説募集  
400字詰 20枚/25枚  
7月31日(消印有効)  
詳しくは、「陽気」6月号  
をご覧ください。

養徳社